

アンケート調査結果及びヒアリング結果について

1 概要

部活動の地域移行に関するプラン骨子の策定に向け、市内における実態やニーズ等を把握するためのアンケート調査及びヒアリングを実施

2 調査内容

- (1) 児童生徒・保護者へのアンケート調査（令和5年7月11日～7月31日）
 - ア 対象：小学3～6年生、中学1～3年生、小・中学校の保護者 計61,434人
 - イ 方法：WEBアンケート調査 ※児童・生徒はタブレット端末で回答
 - ウ 結果：37,303人・回答率60.7%（子ども89.7%・保護者37.9%）
- (2) 地域へのヒアリング調査（令和5年5月～11月）
 - ア 対象：コミュニティ・スクール連絡会議
 - イ 方法：コミュニティ・スクール連絡会議での説明及びヒアリング
 - ウ 結果：25中学校区のコミュニティ・スクール連絡会議に参加
- (3) 地域指導者、スポーツ・文化芸術団体へのヒアリング調査及びアンケート調査（令和5年10月～11月）
 - ア 対象：市スポーツ協会加盟団体、文化芸術活動団体、地域指導者
 - イ 方法：アンケート調査、ヒアリング
 - ウ 結果：アンケート（スポーツ38団体、50名 文化47団体、55名）

3 調査結果（まとめ）

こども	<p><小学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8割以上が学校外の習い事を行っており、習い事の内容も多様 ・「これからやってみたいと思うこと」としては、「運動する」が最多 <p><中学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8割以上が部活動に所属（運動部：約2/3、文化部：約1/3） ・所属理由は「興味・関心」、「成長への期待」等、自らの考えで部活動を選択 ・7割以上が現状の部活動に満足し、「土日の部活動は必要」と回答。また、7割近くが「今と同じ部活動を続けたい」と回答 ・一方、既存部活動にない活動（バドミントン、ダンス、軽音楽、演劇、書道等）のニーズ有り
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動により「体力や技能の向上」はもとより、コミュニティ形成や精神面での成長を期待 ・7割近くが「土日の部活動は必要」と回答 ・地域移行による心配事としては、「送迎の負担」が最多（2位：平日・休日で指導者が異なる、3位：月謝等の費用負担）
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・こどものニーズ等をしっかり押さえた上で制度設計すべき ・地域環境や家庭環境による体験格差が広がらないよう留意すべき ・指導者不足を解消するため、中学校区を越えた「人材バンク」の設置や、指導者の質やこどもの安全を担保するための取組も進めるべき
スポーツ・文化芸術団体	<ul style="list-style-type: none"> ・休日だけでなく平日の地域移行についても一体的に議論すべき ・競技に対するこどもの多様な志向性についても考慮すべき ・保険等を含め、安全管理の方法や責任の所在を明確にする必要有り
地域指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の8割以上が子どもの成長に喜びを感じ、今後も続けたいと回答 ・心配事は緊急時の対応、熱中症対応が多くを占める ・大会の在り方、地域指導者の関わり方についても整理するべき